

2017/3/5と3/12の礼拝メッセージから

「あなたの領域を宣言する

～与えられていることを喜ぶ～ 重枝 覚子 主任牧師

<チャック・ピアスの預言からの宣言～日本版～>

1) 今があなたの人生が拡大する時であることを宣言する。早く祈りが聞かれるように熱心に祈り、神の約束の実現をもっともっと求めよう

* 試練の時こそ神様が与えてくださった、勉強、嗣業、財産が拡大する時。『私は右と左に増え広がる』『恐れるな。私は恥を見ない』『私の贖い主はイスラエルの聖なる方で、全地の神と言われている』『測り縄は私の好むところに落ちた』『私はこれが好き、このようにしたい!』と宣言しよう。神は測り縄を私たちの好むところに落としてください。

イザヤ54:9

「このことは、わたしにとっては、ノアの日のような。わたしは、ノアの洪水をもう地上に送らないと誓ったが、そのように、あなたを怒らず、あなたを責めないわたしは誓う。たとえ山々が移り、丘が動いても、わたしの変わらぬ愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない」とあなたをあわれむ主は仰せられる。

「苦しめられ、もてあそばれて、慰められなかった女よ。見よ。わたしはあなたの石をアンチモニーでおおい、サファイヤであなたの基を定め、あなたの塔をルビーにし、あなたの門を紅玉にし、あなたの境をすべて宝石にする。あなたの子どもたちはみな、主の教えを受け、あなたの子どもたちには豊かな平安がある。

あなたは義によって強く立ち、しいたげから遠ざかれ。恐れることはない。恐れから遠ざかれ。それが近づくことはない。見よ。攻め寄せる者があっても、それはわたしから出た者ではない。あなたを攻める者は、あなたによって倒される。見よ。炭火を吹きおこし武器を作り出す職人を創造したのはわたしである。それをこわしてしまう破壊者を創造したのもわたしである。

あなたを攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる。また、さばきの時、あなたを責めたてどんな舌でも、あなたはそれを罪に定める。これが、主のしもべたちの受け継ぐ分、わたしから受ける彼らの義である。――主の御告げ――」

詩篇16篇

神よ。私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。私は、主に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにはありません。」地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。ほかの神へ走った者の痛みは増し加わりましょう。私は、彼らの注ぐ血の酒を注がず、その名を口に唱えません。主は、私へのゆずりの地所、また私への杯です。あなたは、私の受ける分を、強く保ってくださいます。測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、私への、すばらしいゆずりの地だ。私は助言を下された主をほめたたえる。まことに、夜になると、私の心が私に教える。

私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。

それゆえ、私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいる。私の身もまた安らかに住まおう。まことに、あなたは、私のたましいをよみに捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

2) すべての心配、恐れ、疑い、怒り、欲求不満、罪責感、過去の罪と咎からくる嫉妬が、取り除かれるように。

* 間違った考えは私たちの全身を阻む。聖書を読むと神の考え方が私たちの考え方になって行く。人知をはるかに超えた識別力が与えられる。

ピリピ人への手紙1-4章

どうか、私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵と平安があなたがたの上にありますように。私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、あなたがたすべてのために祈ることに、いつも喜びを持って祈り、あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

私があるがた全てについてこのように考えるのは正しいのです。あなたがたはみな、私が投獄されている時も、福音を弁明し立証している時も、私と共に恵みにあずかった人々であり、私はそのようなあなたがたを、心に覚えているからです。私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがた全てを慕っているか、そのあかしをしてくださるのは神です。私は祈っています。

あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。

3) リバイバルを宣言する。たくさんの変化を受け止める準備をする。あなたの人生、家族にリバイバルの窓が開くことを宣言する。リバイバルがすべての世代に触れることを宣言する。

*教会のリバイバルだけではなく、人生の家族のリバイバル。変化を恐れず、準備しよう！死んだような物事が生き返る。神の臨在があるところにリバイバルがある。まず家族に変化が起きるように祈り、そこから広げて祈っていこう。

宣言：『先祖から今日まで神を信じない国の私たちは大きな罪過の中にありました。しかし今日から変わります。2017年は安息の年。7は打ち破りの数字です。神の選ばれた時に祈れることを感謝します。主よこの国はあなたの命令を知ろうとしなかった。しかし、今日本は神の国になります。主よ私たちはあなたの御前に立っています。私たちは許されました。あなたが私たちを回復し、癒してくださったからです。私たちは強くなり、与えられた領域で良いものを食べます。神の与えた領域からイエスの御名によって敵を追い出す！主は私の肩から重荷を取り除いてくださった。』

エズラ9章

これらのことが終わって後、つかさたちが私のところに近づいて来て次のように言った。「イスラエルの民や、祭司や、レビ人は、カナン人、ヘテ人、ペリジ人、エブス人、アモン人、モアブ人、エジプト人、エモリ人などの、忌みきらうべき国々の民と縁を絶つことなく、かえって、彼らも、その息子たちも、これらの国々の娘をめとり、聖なる種族がこれらの国々の民と混じり合ってしまった。しかも、つかさたち、代表者たちがこの不信の罪の張本人なのです。」私はこのことを聞いて、着物と上着を裂き、髪の毛とひげを引き抜き、色を失ってすわってしまった。

捕囚から帰って来た人々の不信の罪のことで、イスラエルの神のこぼれを恐れている者はみな、私のところに集まって来た。私は夕方ささげ物の時刻まで、色を失ってじっとすわっていた。

夕方ささげ物の時刻になって、私は気を取り戻し、着物と上着を裂いたまま、ひざまずき、私の神、主に向かって手を差し伸ばし、祈って、言った。「私の神よ。私は恥を受け、私の神であるあなたに向かって顔を上げるのも恥ずかしく思います。私たちの咎は私たちの頭より高く増し加わり、私たちの罪過は大きく天にまで達したからです。私たちの先祖の時代から今日まで、私たちは大きな罪過の中にありました。私たちのその咎のため、私たちや、私たちの王、祭司たちは、よその国々の王たちの手に渡され、剣にかけられ、とりこにされ、かすめ奪われ、恥を見せられて、今日あるとおりです。

しかし、今、しばらくの間、私たちの神、主のあわれみによって、私たちに、のがれた者を残しておき、私たちのためにご自分の聖なる所の中に一つの釘を与えてくださいました。これは、私たちの神が私たちの目を明るくし、奴隷の身の私たちをしばらく生き返らせてくださるためでした。

事実、私たちは奴隷です。しかし、私たちの神は、この奴隷の身の私たちを見捨てることなく、かえって、ペルシヤの王たちによって、私たちに恵みを施し、私たちを生かして、私たちの神の宮を再建させ、その廃墟を建て直させ、ユダとエルサレムに石垣を下さいました。今、こうなってからは、何と申し上げたらよいのでしょうか。私たちの神よ。私たちはあなたの命令を捨てたからです。あなたは、あなたのしもべ、預言者たちによって、こう命じておられました。『あ

あなたがたが、入って行って所有しようとしている地は、そこの国々の民の、忌みきらうべき行ないによって汚された汚らわしい地であり、その隅々まで、彼らの汚れで満たされている。

だから、今、あなたがたの娘を彼らの息子にとつがせてはならない。また、彼らの娘をあなたがたの息子にめとってはならない。永久に彼らの平安も、しあわせも求めてはならない。そうすれば、あなたがたは強くなり、その地の良い物を食べ、これを永久にあなたがたの子孫のために所有することができる』と。

私たちの悪い行ないと、大きな罪過のために、これらすべてのことが私たちの上に起こって後、――事実、私たちの神、あなたは、私たちの咎の受けるべき刑罰よりも軽く罰し、このようにのがれた者を私たちに残してくださいました――

私たちは再び、あなたの命令を破って、忌みきらうべき行ないをするこれらの民と互いに縁を結んでよいのでしょうか。あなたは私たちを怒り、ついには私たちを絶ち滅ぼし、生き残った者も、のがれた者もないようにされるのでしょうか。イスラエルの神、主。あなたは正しい方です。まことに、今日あるように、私たちは、のがれた者として残されています。ご覧ください。私たちは罪過の中であなたの御前におります。このような状態で、だれもあなたの御前に立つことはできないのに。」

詩篇 81 篇

われらの力であられる神に喜び歌え。ヤコブの神に喜び叫べ。声高らかにほめ歌を歌え。タンバリンを打ち鳴らせ。六弦の琴に合わせて、良い音の立琴をかき鳴らせ。われらの祭りの日の、新月と満月に、角笛を吹き鳴らせ。それは、イスラエルのためのおきて、ヤコブの神の定めである。神が、エジプトの地に出て行かれたとき、ヨセフの中に、それをあかしとして授けられた。私は、まだ知らなかったことばを聞いた。

「わたしは、彼の肩から重荷を取り除き、彼の手を荷かごから離してやった。あなたは苦しみのときに、呼び求め、わたしは、あなたを助け出した。わたしは、雷の隠れ場から、あなたに答え、メリバの水のほとりで、あなたをためした。セラ

聞け。わが民よ。わたしは、あなたをたしなめよう。イスラエルよ。よくわたしの言うことを聞けあなたのうちに、ほかの神があってはならない。あなたは、外国の神を拝んではならない。わたしが、あなたの神、主である。わたしはあなたをエジプトの地から連れ上った。あなたの口を大きくあけよ。わたしが、それを満たそう。しかしわが民は、わたしの声を聞かず、イスラエルは、わたしに従わなかった。それでわたしは、彼らをかたくなな心のままに任せ、自分たちのおもんばかりのままに歩かせたああ、ただ、わが民がわたしに聞き従い、イスラエルが、わたしの道を歩いたのだらわたしはただちに、彼らの敵を征服し、彼らの仇に、わたしの手を向けたのに。」主を憎む者どもは、主にへつらっているが、彼らの刑罰の時は永遠に続く。しかし主は、最良の小麦をイスラエルに食べさせる。「わたしは岩の上でできる蜜で、あなたを満ち足らせよう。」

4) あなたの血族に働く姦淫の力を打ち砕いてくださるように主に懇願する。神は姦淫を憎まれる。神を礼拝することはその土地に祝福をもたらすが、偽りの神を礼拝すると、その土地に呪いがもたらされる。

*神が偶像礼拝を嫌われるのは祝福を与えたいから。**ひたすら神を礼拝しよう**。神を礼拝すると祝福される。家庭で職場で臨在を求めよう。聖書の言葉により、霊によって神を知って行く。これは一生の仕事。姦淫とは神の民が神以外のものを拝むこと。あなたには私の他に神々があってはならない（出エジプト記 20）。神を礼拝することは祝福をもたらす。家庭で職場で礼拝する。神様は耐えられない試練には会わせない。（第一コリント 10 章）。偶像礼拝は神以外のものを第一とすること。これは人生に試練を増す。恐れやつぶやきは信仰の反対。

5) あなたの土地や相続から、不当に流された血を取り除いてくださるように主に懇願する。カインとアベルの一件を思い出す。これは我々に流血がそれが起こった場所に影響を与えることを学ぶ。暴力で流された血は現場の土地に浸透し、空中の権力の君がその土地に合法的な権利を得る。呪いは非合法的な暴力と流血の結果。暴力で流された血は空中の支配者に権利を与える。

***預言的に示されてその土地に流された不当に流された血を取り除いてください、と祈る。**呪いは打ち碎かれる。調布時代に会堂を探していた時、重枝牧師が調布の歴史を調べた。キリシタンの迫害について知り、住んでいる者の代表として悔い改め、血の呪いを取り除いてくださいと祈った。その後すぐに会堂が与えられた。**祝福を受けるために重要な祈り。**歴史を調べることも重要。心から信じて宣言する。**祝福を妨げている者は霊。言葉も霊。霊は霊で追い出す。イエス様はそのために死んでくださった。今は拡大の時。**もっと拡大することを求めて欲しいと神さまは願われている。

創世記4章

人は、その妻エバを知った。彼女はみごもってカインを産み、「私は、主によってひとりの男子を得た」と言った。彼女は、それからまた弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となりカインは土を耕す者となった

ある時期になって、カインは、地の作物から主へのささげ物を持って来たが、アベルもまた彼の羊の初子の中から、それも最上のものを持って来た。主はアベルとそのささげ物とに目を留められた。だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それで、カインはひどく怒り、顔を伏せた。そこで、主は、カインに仰せられた。「なぜ、あなたは憤っているのか。なぜ、顔を伏せているのか。あなたが正しく行なったのであれば、受け入れられる。ただし、あなたが正しく行っていないのなら、罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。だが、あなたは、それを治めるべきである。」

しかし、カインは弟アベルに話しかけた。「野に行こうではないか。」そして、ふたりが野にいたとき、カインは弟アベルに襲いかかり、彼を殺した。主はカインに、「あなたの弟アベルは、どこにいるのか」と問われた。カインは答えた。「知りません。私は、自分の弟の番人なのでしょうか。」

そこで、仰せられた。「あなたは、いったいなんということをしたのか。聞け。あなたの弟の血が、その土地からわたしに叫んでいる。

今や、あなたはその土地にのろわれている。その土地は口を開いてあなたの手から、あなたの弟の血を受けた。それで、あなたがその土地を耕しても、土地はもはや、あなたのためにその力を生じない。あなたは地上をさまよい歩かさずらい人となるのだ。」カインは主に申し上げた。「私の咎は、大きすぎて、にないきれません。ああ、あなたはきょう私をこの土地から追い出されたので、私はあなたの御顔から隠れ、地上をさまよい歩かさずらい人とならなければなりません。それで、私に出会う者はだれでも、私を殺すでしょう。」主は彼に仰せられた。「それだから、だれでもカインを殺す者は、七倍の復讐を受ける。」そこで主は、彼に出会う者が、だれも彼を殺すことのないように、カインに一つのしるしを下された。

6) あなたが管理している土地あるいは血縁関係にあるどのような不道德との繋がりを断つ。これは真剣に受け取るべきこと。自分がいいと思ったことをやってもいいのではなく、サタンはすべての不道德な行動は、土地は家庭を汚す権威をもっと拡大することを知っている。インターネット到来で不道德なサイトに容易にアクセスできるようになった。しかし、これらのことは隠されることはない。秘密裏で行われた罪は、それが行われた場所に深刻な汚れをもたらす
***サタンは不道德なことがある土地、家庭を汚す合法的な権威を欲しがっている。**神の臨在によって私たちは守られているが、不道德を家庭に持ち込む時サタンに合法的に権威を与えてしまう。**不道德を一切を断ち切る。**きよくなければ神の祝福に与えることはできない。これは真剣に受け取るべきこと。不道德なサイトなどに、現在は容易にアクセスできてしまう。隠されていることは明らかにされる。私たちの土地、管理しているものから不道德を追い出す時、神様が祝福して下さる。

第一コリント3章-7章

さて、兄弟たちよ。私は、あなたがたに向かって、御霊に属する人に対するようには話すことができないで、肉に属する人、キリストにある幼子に対するように話しました。私はあなたがたには乳を与えて、堅い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。

あなたがたは、まだ肉に属しているからです。あなたがたの間にねたみや争いがあることからすれば、あなたがたは肉に属しているのではありませんか。そして、ただの人のように歩んでいるのではありませんか。

ある人が、「私はパウロにつく」と言えば、別の人は、「私はアポロに」と言う。そういうことでは、あなたがたは、ただの人たちではありませんか。

アポロとは何でしょう。パウロとは何でしょう。あなたがたが信仰に入るために用いられたしもべであって、主がおのにおに授けられたとおりのことをしたのです。私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。植える者と水を注ぐ者は、一つですが、それぞれ自分自身の働きに従って自分自身の報酬を受けるのです。私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。もし、だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現われ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。もしだれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。もし、だれかが神の神殿をこわすなら、神がその人を滅ぼされます。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたがその神殿です。だれも自分を欺いてはいけません。もしあなたがたの中で、自分は今の世の知者だと思者がいたら、知者になるためには愚かになりなさい。なぜなら、この世の知恵は、神の御前では愚かだからです。こう書いてあります。「神は、知者どもを彼らの悪賢さの中で捕らえる。また、次のようにも書いてあります。「主は、知者の論議を無益だと知っておられる。」ですから、だれも人間を誇ってはいけません。すべては、あなたがたのもので、パウロであれ、アポロであれ、ケパであれ、また世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてあなたがたのもので、

そして、あなたがたはキリストのものであり、キリストは神のもので。（3章）

こういうわけで、私たちを、キリストのしもべ、また神の奥義の管理者だと考えなさい。この場合、管理者には、忠実であることが要求されます。しかし、私にとっては、あなたがたによる判定、あるいは、およそ人間による判決を受けることは、非常に小さなことです。事実、私は自分で自分をさばくことさえしません

私にはやましいことは少しもありませんが、だからといって、それで無罪とされるわけではありません。私をさばく方は主です。ですから、あなたがたは、主が来られるまでは、何についても、先走ったさばきをしてはいけません。主は、やみの中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごととも明らかにされます。そのとき、神から各人に対する称賛が届くのです。

さて、兄弟たち。以上、私は、私自身とアポロに当てはめて、あなたがたのために言って来ました。それは、あなたがたが、私たちの例によって、「書かれていることを越えない」ことを学ぶため、そして、一方にくみし、他方に反対して高慢にならないためです。いったいだれが、あなたをすぐれた者と認めるのですか。あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。もしもらったのなら、なぜ、もらっていないかのように誇るのですか。あなたがたは、もう満ち足りています。もう豊かになっています。私たち抜きで、王さまになっています。いっそのこと、あなたがたがほんとうに王さまになっていたらよかったです。そうすれば、私たちも、あなたがたといっしょに王になれたでしょう。私は、こう思います。神は私たち使徒を、死罪に決まった者のように、行列のしんがりとして引き出されました。こうして私たちは、御使いにも人々にも、この世の見せ物になったのです。私たちはキリストのために愚かな者ですが、あなたがたはキリストにあって賢い者です。私たちは弱い、あなたがたは強いのです。あなたがたは榮譽を持っているが、私たちは卑しめられています。今に至るまで、私たちは飢え、渇き、着る物もなく、虐待され、落ち着く先もありません。また、私たちは苦勞して自分の手で働いています。はずかしめられるときにも祝福し、迫害されるときにも耐え忍び、ののしられるときには、慰めのことばをかけます。今でも、私たちはこの世のちり、あらゆるもののかすです。私がこう書くのは、あなたがたをはずかしめるためではなく、愛する私の子どもとして、さとすためです。

たといあなたがたに、キリストにある養育係が一人あるうとも、父は多くあるはずがありません。この私が福音によって、キリスト・イエスにあって、あなたがたを生んだのです。ですから、私はあなたがたに勧めます。どうか、私にならう者となってください。そのために、私はあなたがたのところへテモテを送りました。テモテは主にあって私の愛する、忠実な子です。彼は、私が至る所のすべての教会で教えているとおりに、キリスト・イエスにある私の生き方を、あなたがたに思い起こさせてくれるでしょう。私があるところへ行くことはあるまいと、思い上がっている人たちがいます。しかし、主のみこころであれば、すぐにもあなたがたのところへ行きます。そして、思い上がっている人たちの、ことばではなく、力を見せてもらいましょう。神の国はことばにはなく、力にあるのです。あなたがたはどちらを望むのですか。私はあなたがたのところへむちを持って行きましょうか。それとも、愛と優しい心で行きましようか。（4章）

あなたがたの間に不品行があるということが言われています。しかもそれは、異邦人の中にもないほどの不品行で、父の妻を妻にしている者がいるとのこと。それなのに、あなたがたは誇り高ぶっています。そればかりか、そのような行ないをしている者をあなたがたの中から取り除こうとして悲しむこともなかったのです。私のほうでは、からだはそこにいなくても心はそこにおり、現にそこにいるのと同じように、そのような行ないをした者を主イエスの御名によってすでにさばきました。あなたがたが集まったときに、私も、霊においてともにおり、私たちの主イエスの権能をもって、このような者をサタンに引き渡したのです。それは彼の肉が滅ぼされるためですが、それによって彼の霊が主イエスの日に救われるためです。

あなたがたの高慢は、よくないことです。あなたがたは、ほんのわずかのパン種が、粉のかたまり全体をふくらませることを知らないのですか。新しい粉のかたまりのままでいるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたはパン種のないものだからです。私たちの過越の小羊キリストが、すでにほふられたからです。ですから、私たちは、古いパン種を用いたり、悪意と不正のパン種を用いたりしないで、パン種の入らない、純粋で真実なパンで、祭りをしようではありませんか。

私は前にあなたがたに送った手紙で、不品行な者たちと交際しないようにと書きました。それは、世の中の不品行な者、貪欲な者、略奪する者、偶像を礼拝する者と全然交際しないようにという意味ではありません。もしそうだとしたら、この世界から出て行かなければならないでしょう。私が書いたことのほんとうの意味は、もし、兄弟と呼ばれる者で、しかも不品行な者、貪欲な者、偶像を礼拝する者、人をそしめる者、酒に酔う者、略奪する者がいたなら、そのような者とはつきあってはいけなく、いっしょに食事をしてはいけなく、ということです。外部の人たちをさばくことは、私のすべきことでしょうか。あなたがたがさばくべき者は、内部の人たちではありませんか。外部の人たちは、神がおさばきになります。その悪い人をあなたがたの中から除きなさい。(5章)

あなたがたの中には、仲間の者と争いを起こしたとき、それを聖徒たちに訴えないで、あえて、正しくない人たちに訴え出るような人がいるのでしょうか。あなたがたは、聖徒が世界をさばくようになることを知らないのですか。世界があなたがたによってさばかれるはずなのに、あなたがたは、ごく小さな事件さえもさばく力がありませんか。私たちは御使いをもさばくべき者だ、ということを知らないのですか。それならこの世のことは、言うまでもないではありませんか。それなのに、この世のことで争いが起こると、教会のうちでは無視される人たちを裁判官に選ぶのですか私はあなたがたをはずかしめるためにこう言っているのです。いったい、あなたがたの中には、兄弟の間の争いを仲裁することのできるような賢い者が、ひとりもないのですか。それで、兄弟は兄弟を告訴し、しかもそれを不信者の前でするのですか。

そもそも、互いに訴え合うことが、すでにあなたがたの敗北です。なぜ、むしろ不正をも甘んじて受けないのですか。なぜ、むしろだまされていないのですか。

ところが、それどころか、あなたがたは、不正を行なう、だまし取る、しかもそのようなことを兄弟に対してしているのです。あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしめる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。

すべてのことが私には許されたことです。しかし、すべてが益になるわけではありません。私にはすべてのことが許されています。しかし、私はどんなことにも支配されはしません。食物は腹のためにあり、腹は食物のためにあります。ところが神は、そのどちらをも滅ぼされます。からだは不品行のためにあるのではなく、主のためであり、主はからだのためです。神は主をよみがえらせましたが、その御力によって私たちをもよみがえらせてくださいます。あなたがたのからだはキリストのからだの一部であることを、知らないのですか。キリストのからだを取って遊女のからだとするのですか。そんなことは絶対に許されません。

遊女と交われば、一つからだになることを知らないのですか。「ふたりは一体となる」と言われているからです。しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、不品行を行なう者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。

あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。(6章)

さばいてはいけません。さばかれないためです。あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせてください』などどうして言う

のですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。偽善者よ。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。聖なるものを犬に与えてはいけません。また豚の前に、真珠を投げてはなりません。それを足で踏みじり、向き直ってあなたがたを引き裂くでしょうから。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれ、まただれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。

また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。

してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがあります。それで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。

いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。

同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実をならせることはできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。

こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。

わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者が入るのです。

その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』

しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なわない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。

雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。（7章）

7) 契約の破棄に対して終結を宣言しよう。ダビデ王の時代、ききんについて神に尋ねたところ、「サウロがギブオン人を殺した結果サウロとサウロの家に血の責任がある」とおっしゃった。

*私たちはアブラハムの約束のうちに生きている。神様は私たちが祝福する者を祝福する。私たちが正しい者と、神様は見てください、その祝福は千代に及ぶ。一あなたの罪を思い出さない。こね鉢はいつも祝福される。壺の油は無くなることはない—神はこのように言われる。しかし、罪によってこの契約が破棄されてしまうこともある。**契約破棄の終結を宣言する。**人間関係、仕事、家族、あらゆる分野に祝福がもたらされるように、先祖の罪、自分の罪、家族の罪を悔い改め宣言する。ギブオン人はヨシュアの時代にイスラエルと一緒に約束の地に入り、契約に預かった。この契約はギブオン人の安全の保証であった。しかしサウルがこれを破り彼らを殺害し、一人残らず虐殺する計画であった。その結果、神は祝福を取り除いたのでききんが起こった。ポイントはききんはすぐには起こらなかつたということ。ダビデが権力の座に着いた時に起こった。悪いことはすぐに起こらない。**契約の破棄についてダビデのように悔い改め、償いをした。国中に悔い改めが起こり、神は心を動かされた。**宣言して祈ることで御手に委ね、先祖に代わって悔い改める。日本は在日の韓国人、中国人、フィリピン人、先住民のアイヌの方々に対する差別的な行動を悔い改め、祈る必要がある。

第二サムエル 21 : 1

ダビデの時代に、三年間引き続いてききんがあった。そこでダビデが主のみこころを伺うと、主は仰せられた。「サウルとその一族に、血を流した罪がある。彼がギブオン人たちを殺したからだ。」そこで王はギブオン人たちを呼び出して、彼らに言った。――ギブオンの人たちはイスラエル人ではなく、エモリ人の生き残りであって、イスラエル人は、彼らと盟約を結んでいたのであるが、サウルが、イスラエルとユダの人々への熱心のあまり、彼らを打ち殺してしまおうとしたのであった。――

ダビデはギブオン人たちに言った。「あなたがたのために、私は何をしなければならないのか。私が何を償ったら、あなたがたは主のゆずりの地を祝福できるのか。」ギブオン人たちは彼に言った。「私たちとサウル、およびその一族との間の問題は、銀や金のことでありません。また私たちがイスラエルのうちで、人を殺すことでもありません。」そこでダビデが言った。「それでは私があなたがたに何をしたらよいと言うのか。」彼らは王に言った。「私たちを絶ち滅ぼそうとした者、私たちを滅ぼしてイスラエルの領土のどこにも、おらせないようにたくらんだ者、その者の子ども七人を、私たちに引き渡してください。私たちは、主の選ばれたサウルのギブアで、主のために、彼らをさらし者にします。」王は言った。「引き渡そう。」

しかし王は、サウルの子ヨナタンの子メフィボシェテを惜しんだ。それは、ダビデとサウルの子ヨナタンとの間で主に誓った誓いのためであった。

王は、アヤの娘リツパがサウルに産んだふたりの子アルモニとメフィボシェテ、それに、サウルの娘メラブがメホラ人バルジライの子アデリエルに産んだ五人の子を取って、彼らをギブオン人の手に渡した。それで彼らは、この者たちを山の上で主の前に、さらし者にした。これら七人はいっしょに殺された。彼らは、刈り入れ時の初め、大麦の刈り入れの始まったころ、死刑に処せられた。アヤの娘リツパは、荒布を脱いで、それを岩の上に敷いてすわり、刈り入れの始まりから雨が天から彼らの上に降るときまで、昼には空の鳥が、夜には野の獣が死体に近寄らないようにした。サウルのそばめアヤの娘リツパのしたことはダビデに知らされた。すると、ダビデは行って、サウルの骨とその子ヨナタンの骨を、ヤベシュ・ギルアデの者たちのところから取って来た。これは、ペリシテ人がサウルをギルボアで殺した日に、ペリシテ人が彼らをさらしたベテ・シャンの広場から、彼らが盗んで行ったものであった。ダビデがサウルの骨とその子ヨナタンの骨をそこから携えて上ると、人々は、さらし者にされた者たちの骨を集めた。こうして、彼らはサウルとその子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のツェラにあるサウルの父キシユの墓に葬り、すべて王が命じたとおりにした。その後、神はこの国の祈りに心を動かされた。

8) 主があなたに回復の力を巻き起こしてくださるように懇願しよう。

素早く、恥、傷、拒絶から速やかに癒されるように神様に祈ろう。「私の民は永遠に恥を見ることはない」と約束してくださっている。その後、すべての人にわたしの霊を注ぐとは、信仰の回復のこと。個人的回復、家族の回復、国の回復、イスラエルの回復を祈る。詩篇 112。イスラエルに接ぎ木された者。

ヨエル 1-3

ペトエルの子ヨエルにあった主のことば。長老たちよ。これを聞け。この地に住む者もみな、耳を貸せ。このようなことがあなたがたの時代に、また、あなたがたの先祖の時代にあったらうか。これをあなたがたの子どもたちに伝え、子どもたちはその子どもたちに、その子どもたちは後の世代に伝えよ。かみつくいながが残した物は、いなごが食い、いなごが残した物は、ばったが食い、ばったが残した物は、食い荒らすいなごが食った。酔っぱらいよ。目をさまして、泣け。すべてぶどう酒を飲む者よ。泣きわめけ。甘いぶどう酒があなたがたの口から断たれたからだ。一つの国民がわたしの国に攻め上った。力強く、数えきれない国民だ。その歯は雄獅子の歯、それには雄獅子のきばがある。それはわたしのぶどうの木を荒れすたれさせ、わたしのいちじくの木を引き裂き、これをまる裸に引きむいて投げ倒し、その枝々を白くした。若い時の夫のために、荒布をまとったおとめのように、泣き悲しめ。穀物のささげ物と注ぎのぶどう酒は主の宮から断たれ、主に仕える祭司たちは喪に服する。畑は荒らされ、地も喪に服する。これは穀物が荒らされ、新しいぶどう酒も干上がり、油もかかれてしまうからだ。農夫たちよ。恥を見よ。ぶどう作りたちよ。泣きわめけ。小麦と大麦のために。畑の刈り入れがなくなったからだ。ぶどうの木は枯れ、いちじくの木はしおれ、ざくる、なつめやし、りんご、あらゆる野の木々は枯れた。人の子らから喜びが消えうせた。祭司たちよ。荒布をまとっていきみ悲しめ。祭壇に仕える者たちよ。泣きわめけ。神に仕える者たちよ。宮に行き、荒布をまとって夜を過ごせ。穀物のささげ物も注ぎのぶどう酒もあなたがたの神の宮から退けられたからだ。断食の布告をし、きよめの集会のふれを出せ。長老たちとこの国に住むすべての者を、あなたがたの神、主の宮に集め、主に向かって叫べ。ああ、その日よ。主の日は近い。全能

者からの破壊のように、その日が来る。私たちの目の前で食物が断たれたではないか。私たちの神の宮から喜びも楽しみも消えさせたではないか。穀物の種は土くれの下に干からび、倉は荒れすたれ、穴倉はこわされた。穀物がしなびたからだ。ああ、なんと、家畜がうめいていることよ。牛の群れはさまよう。それに牧場がないからだ。羊の群れも滅びる。主よ。私はあなたに呼び求めます。火が荒野の牧草地を焼き尽くし、炎が野のすべての木をなめ尽くしました。野の獣も、あなたにあえぎ求めています。水の流れがかれ、火が荒野の牧草地を焼き尽くしたからです。

シオンで角笛を吹き鳴らし、わたしの聖なる山でときの声をあげよ。この地に住むすべての者は、わななけ。主の日が来るからだ。その日は近い。やみと、暗黒の日。雲と、暗やみの日。山々に広がる暁の光のように数多く強い民。このようなことは昔から起こったことがなく、これから後の代々の時代にも再び起こらない。彼らの前では、火が焼き尽くし、彼らのうしろでは、炎がなめ尽くす。彼らの来る前には、この国はエデンの園のようであるが、彼らの去ったあとでは、荒れ果てた荒野となる。これからのがれるものは一つもない。その有様は馬のようで、軍馬のように、駆け巡る。さながら戦車のきしるよう、彼らは山々の頂をとびはねる。それは刈り株を焼き尽くす火の炎の音のよう、戦いの備えをした強い民のようである。

その前で国々の民はもだえ苦しみ、みな顔は青ざめる。それは勇士のように走り、戦士のように城壁をよじのぼる。それぞれ自分の道を進み、進路を乱さない。互いに押し合わず、めいめい自分の大路を進んで行く。投げ槍がふりかかっても、止まらない。それは町を襲い、城壁の上を走り、家々によじのぼり、盗人のように窓から入り込む。その面前で地は震い、天は揺れる。太陽も月も暗くなり、星もその光を失う。

主は、ご自身の軍勢の先頭に立って声をあげられる。その隊の数は非常に多く、主の命令を行なう者は力強い。主の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられよう。

「しかし、今、――主の御告げ――心を尽くし、断食と、涙と、嘆きとをもって、わたしに立ち返れ。」

あなたがたの着物ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、主に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深く、怒るのにおそく、恵み豊かで、わざわざを思い直してくださるからだ。

主が思い直して、あわれみ、そのあとに祝福を残し、また、あなたがたの神、主への穀物のささげ物と注ぎのぶどう酒とを残してくださらないとだれが知ろう。シオンで角笛を吹き鳴らせ。断食の布告をし、きよめの集会のふれを出せ。民を集め、集会を召集せよ。老人たちを集め、幼子、乳飲み子も寄せ集めよ。花婿を寝室から、花嫁を自分の部屋から呼び出せ。主に仕える祭司たちは、神殿の玄関の間と祭壇との間で、泣いて言え。「主よ。あなたの民をあわれんでください。あなたのゆずりの地を、諸国の民のそしりとしたり、物笑いの種としたりしないでください。国々の民の間に、『彼らの神はどこにいるのか』と言わせておいてよいのでしょうか。」主はご自分の地をねたむほど愛し、ご自分の民をあわれまれた。主は民に答えて仰せられた。「今、わたしは穀物と新しいぶどう酒と油とをあなたがたに送る。あなたがたは、それで満足する。わたしは、二度とあなたがたを、諸国の民の間で、そしりとしめない。わたしは北から来るものを、あなたがたから遠ざけ、それを荒廃した砂漠の地へ追いやり、その前衛を東の海に、その後衛を西の海に追いやる。その悪臭が立ち上り、その腐ったにおいが立ち上る。主が大いなることをしたからだ。」地よ。恐れるな。楽しみ喜べ。主が大いなることをされたからだ。野の獣たちよ。恐れるな。荒野の牧草はもえ出る。木はその実をみのらせ、いちじくの木と、ぶどうの木とは豊かにみのる。シオンの子らよ。あなたがたの神、主にあって、楽しみ喜べ。主は、あなたがたを義とするために、初めの雨を賜わり、大雨を降らせ、前のように、初めの雨と後の雨とを降らせてくださるからだ。打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油とであふれる。いなご、ばった、食い荒らすいなご、かみつくいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が、食い尽くした年々を、わたしはあなたがたに償おう。あなたがたは飽きるほど食べて満足し、あなたがたに不思議なことをしてくださったあなたがたの神、主の名を誉めたたえよう。私の民は永遠に恥を見ることはない。あなたがたは、イスラエルの真ん中に私がいることを知り、私があなたがたの神、主であり、他に神はないことを知る。私の民は永遠に恥を見ることはない。その後、わたしはすべての人に私の霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りも夢を見、若い男は幻を見る。その日、私は、僕にも、はしためにも、私の霊を注ぐ。わたしは天と地に不思議なしるしを現す。血と火と煙の柱である。主の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇となり、月は血に変わる。しかし、主の名を呼ぶ者はみな救われる。主が仰せられたように、シオンの山、エルサレムに、のがれる者があるからだ。その生き残った者のうちに、主が呼ばれる者がいる。見よ。わたしがユダとエルサレムの繁栄を元通りにする、その日その時、わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。太陽も月も暗くなり、星もその光を失う。主はシオンから叫び、エルサレムから声を出される。天も地も震える。だが、主は、その民の避け所、イスラエルの子らのとりでである。あなたがたは、わたしがあなたがたの神、主であり、わたしの聖なる山、シオンに住むことを知ろう。エルサレムは聖地となり、他国の人はもう、そこを通らない。その日、山々には甘いぶどう酒が滴り、丘おかには乳が流れ、ユダのすべての谷川には水が流れ、主の宮から泉がわきいで、シティムの溪流を潤す。エジプトは荒れ果てた荒野となる。彼らのユダの人々への暴虐のためだ。彼らが彼らの地で、罪のない血を流したためだ。

だが、ユダは永遠に人の住む所となり、エルサレムは代々に渡って人の住む所となる。わたしは彼らの血の復習をし、罰しないでは置かない。主はシオンに住む。

9) 主が弟子たちに教えられた祈り。天と地がつながったということを宣言しよう。そしてそのことを覚えて新しいレベルの神様との親しい交わりが、あなたの人生に起こるということを宣言しよう。

*イエスの十字架で天と地が繋がった。神様との新しいレベルの親しい交わりがこれから起こる。もっと近く、もっと深くと期待して祈る。イエスが弟子に教えられた祈り、すべてゆだねます。明日のことは心配しません。完全にゆだねた関係。天におられる父は良いものをくださる！あなたの御国を与えてくださることを信じます。私たちはどんな大風が吹いても揺らぐことはない。どんな嵐が来ても、あなたが平安をくださる方です、と祈ろう。

マタイ5-7抜粋

あなたがたの父なる神は、あなたがたが願う前に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。

御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

マタイ6：32-34

そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。

こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。

あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

さばいてはいけません。さばかれないためです。あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせてください』などどうして言うのですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。

偽善者よ。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。

聖なるものを犬に与えてはいけません。また豚の前に、真珠を投げてはなりません。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたを引き裂くでしょうから。

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありますでしょう。

こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのですそれで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。

いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。

あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。同様に、**良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実をならせることはできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。**

良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。こういう訳で、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。

10) あなたの土地が新しい方法で生み出すことを始め、あなたの倉庫は満杯となる。あなたの土地が安息に入ったことを宣言する。自分の所有を宣言しよう。あなたが占領する土地と領域で聖餐式をしよう。ヘブル3：4。*あなたを私に変えて宣言。

「家はそれぞれ、だれかが建てるのですが、すべてのものを造られた方は、神です。」

*安息＝礼拝。神が平安と休息を与えてくださらなければ、心はどんどん一人歩きしてしまう。一人一人は神の家、御子によって忠実に治められる。私たちの領域、所有も神の家。弱くなった時も今年は立ち返るスピードが加速されると宣言！今日私たちの所有（土地、勉強、仕事など）から新しい方法で、産物が産出すると信じて聖餐式をする。イエスの血潮をそこに注ぐためぶどう液を飲む。イエス様が命を持って贖われたと信じてパンを食べる。

<信仰を持って祈り宣言しよう>

- ・主よ、家族を祝福してください、リバイバルを起こしてください。
- ・仕事を祝福してください、命が注がれるように。正義が注がれるように。
- ・土地を祝福してください。倍々に増やしてください。そこから産出されるもの、住んでいるものが祝福され、不動産が増えますように。その土地の周りが祝福され、汚れが取り除かれ姦淫が壊されていくことを信じます。
- ・私の携わることを祝福してください。プロジェクト、計画、人々にリバイバルを起こしてください。あなたの命を注いでください。私が行く所々祝福して下さることを信じます。信仰を持って侵入して行くことができますように。
- ・神様、バウンダリーを信じます。私に与えられていないことに力を注がないように守ってください。与えられていることにベストを尽くすためです。自分の領域、自分のバウンダリー、分別をわきまえ知る天からの知恵と謙遜を与えてください。私に与えられていないことをしないように守ってください。あなたに与えられていることをしっかりとやり遂げる勇気と大胆さをください。
- ・主よあなたが私の心の目、霊的な目を開いてくださって、見えるように聞こえるようにしてください。見分ける力をますます与えて下さって、何が神から出ている良いことで、賞賛されるべき正しいことか見分ける力をください。それに対して信じて行うことができるように。もし、敵から出ている思い、嘘があるならあるならそれに気づき、キリストの名によって閉めだします。聖餐式の血潮がそこをきよめます。

<祈り>

今主が、キリストの血潮を土地に神の家に注いできよめてください。聖餐に預かることを主は喜ばれています。キリストの体を土地に注ぎます。罪の赦しのため割かれた体です。私たちを癒し、生かし、リバイブさせるためです。今日あなたが与えて下さって私たちが食べた御ことばの力を細胞一つ一つに浸透させてください。神から出ているものをあなたが取り去って下さるように。神様、私たちには十分試練が与えられていますので、自ら試練を求めるような軽率な行動をしないように、あなただけに目を向けることができるように。あなた以外のものを尊ぶことがないように。祝福に感謝いたします。